

今月の記事

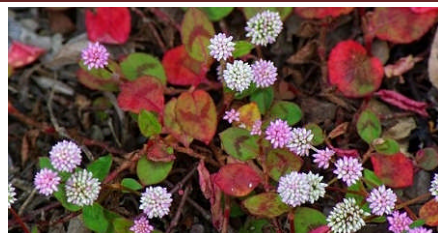
リハビリ教室 30年

本宮大社へ遠足

職員研修

リレーエッセイ

今月の愛の園



機能訓練指導員

太田剛史

リハビリ教室共催 30年

愛の園は、上富田町社会福祉協議会との共催事業として、「上富田町リハビリ教室」を行っています。リハビリ教室の目的は地域の方々や福祉事業所の職員などを対象に、リハビリや介護の基礎知識を広めることです。毎年、受講生を30名程度募集して、月1回3時間の講習を1年間(講習回数11回)通して受講し、基礎知識を習得していただけるようプログラムされています。

教室の内容は、前半に介護保険制度、高齢者の栄養、認知症、介護機器等について専門職からの講義を受け、後半に理学療法士の指導によりリハビリテーション等の実技を学んでいます。

このリハビリ教室も本年度で30周年を迎えることとなりました。この30年間で受講された方は770名、愛の園からも新採用職員を中心に、毎年2名が受講しています。

修了者の皆さんがこの教室で習得した知識・技術を、必要とする方々に正しく発揮できるよう願っています。(太田剛史)

私は上富田町で開催されているリハビリ教室で、約8年前に勉強させていただきました。リハビリ教室ではリハビリテーションもそうですが、介護についても勉強することがあり、色々な学びがありました。リハビリ教室で学んだことを活かして日常の業務を行い、後輩達にもリハビリ教室で勉強した内容を伝え、再度勉強する機会も多くあります。

今回でリハビリ教室が30周年を迎え、意見をさせていただきました。上富田町リハビリ教室は、医療・福祉の仕事をしていない方々が、介護やリハビリを学ぶことのできる機会です。これから先も長く続いて行くことを願っています。(下畑朝香:介護職員)

リハビリ教室30周年記念の式典で表彰して頂き、とても嬉しかったです。私が長い間講師を続けてこられたのも、私の拙い話を聞いてくれた受講者の方や社協職員の助けがあったからです。これからもリハビリ教室が40周年、50周年と続く事を願い、そこにお手伝いできればと思います。(栗栖いずみ:管理栄養士)



式典で意見発表する下畑朝香

介護職員

秋の遠足で熊野本宮大社へ

羽山成美

10月11日に愛の園秋の遠足として、入居者の皆さん11名、職員15名で本宮大社に行ってきました。入居者の皆さんお一人ずつに職員が付き添って一緒に行動しました。

前日の夜に雨が降り、天気を心配しましたが、曇りから晴れになり過ごしやすい気候でした。10時頃より職員が運転するマイクロバスに乗車し、時間通りに10時15分出発。入居者さんが「何処に行くん？」と何度も聞か

れていましたが、外の景色を眺め楽しまれていました。11時30分にわたらせ温泉ホテルさゆりに到着。幕の内弁当か牛しゃぶ弁当を事前に入居者さんに写真を見て選んで頂いていた昼食をおいしく頂きました。食後はつり橋を渡って温泉前にあるお土産物屋を見に行ったり個々に自由に過ごされ、13時頃にわたらせ温泉を出発し、本宮大社に到着。マイクロバスで本殿近くまで行き、車椅子で砂利道をガタガタなりながらも入居者さんも楽しまれており、集合写真を撮ってお参りをしました。

帰りのバスの中では、疲れて寝ている人もいましたが、トイレ休憩に寄った「古道歩きの里ちかつゆ」ではほとんどの人がバスから降りてお土産を買ったりしていました。

時間通り16時に帰園するまで、楽しい一日を過ごしました。



福祉施設職員として“学ぶ”

愛の園では、年間を通じ、様々な機会での職員の研修が行われています。昨年度は園内外の46の研修に延749人の職員が参加し、今年度はこれまでに、25の研修に延656人が参加しました。

園内研修は、各部署の代表者による研修委員会が企画を検討し準備します。今年度はこれまでに、「新採用研修」、「高齢者の脱水と経口補水療法」、「介護保険制度」、「介護現場の現状と課題」、「介護の現場から薬を考える」をテーマに実施され、年明けに「高齢者の権利擁護」について学ぶ予定です。

介護職員はこれらに加えて、「介護記録の書き方」、「介護技術実技」、「福祉車両取扱い」など、実践的な研修を行っています。

また、「ユニットケア」についての自主的な勉強会も有志職員によって続けられています。

園外での研修はさらに多岐にわたり、「ユ

ニットリーダー」、「ケアマネジャー」、「実習指導者」、「認知症ケア」、「ターミナルケア」、「高齢者虐待」、「相談援助」、「リスクマネジメント」などに参加しています。

高齢者介護には、これに関わる様々な職種において、それぞれのより高い専門性と、互いの連携・協力が求められています。資格取得も含めた学びの充実と自己研鑽とに励む組織であり職員であるよう努めています。



和歌山県介護福祉士会会長 雑賀孝治氏 8/21・28



和歌山社会福祉専門学校長
中世古博幸氏 10/22・29

リレーエッセイ(6) 『夢を大きく』

介護職員
鳥本健太

私は高校を卒業し、福祉について勉強したいと思い福祉専門学校に入学しました。お年寄りの食事のお世話やお風呂のお手伝いをして喜んでもらえることが自分の喜びにもなります。

初めて認知症の方と接した時は、同じ話を繰り返される方や、急に怒る方などさまざまな方々と接し、「どうしたらいいんやろう」とか、「何で怒るんだらう」と考え過ぎたこともありました。日が経つにつれて「認知症」という病気の症状を理解し始め、配慮することができてきました。

また、それと同時にお年寄り一人一人の個性にも、コミュニケーションの仕方一つで対応できていき、次のステップに進むことができてきました。

私の趣味の一つは小学校4年間、中学校3年間続けてきた野球です。その経験を活かし、現在も社会人野球チームに入っています。

私は、現在メジャーリーグで活躍しているニューヨークヤンキースのイチロー選手の言動や生き方を目標にしています。彼は史上最高打率を達成する為に残り試合を休むようなことはしません。何事も諦めず、努力し続け、どこまでも正々堂々と戦い、人間としての誇り高い生き方を示しています。

私もそんな彼の生き方のように、夢を大きく持ち、目標を定め、常に努力を忘れず前向きな気持ちで頑張っていきたいと思います。

次は4ユニットの菅根克幸君にバトンタッチします。よろしくお願いします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

11～12月の愛の園

- 11(日) 日曜礼拝 運動会
- 15(木) やまびこ会
- 17(土) 40周年記念講演&コンサート
- 18(日) 日曜礼拝 青野浩美コンサート
- 20(火) ひまわり会
- 21(水) 田辺工業高校生徒来園
- 22(木) やまびこ会
- 25(日) 日曜礼拝
- 27(火) マリア会
- 29(木) やまびこ会
ふれあい作品展出展(和歌山市)
- 2(日) 日曜礼拝
- 4(火) マリア会
- 6(木) やまびこ会

編集者から

「秋来ぬと 目にはさやかに見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる」という藤原敏行の有名な短歌があります。これは、秋が来たと目にははっきり見えないうけれども、吹く風の音で、もう秋なのだ、はっと気付かされる、という意味です。最近寒い日が続く、木枯らし1号も10月29日に観測されました。街行く人達の服装もコートや羽織の人が見受けられ、季節の移り変わりを実感させられます。

冬になると毎年インフルエンザが流行し、愛の園でも入居者・職員が予防接種を受けるなど感染症予防に力を入れています。ご面会にお越しの際には、入室前の手洗いうがいのご協力をお願いいたします。(C)

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>